

厚生労働科学研究費補助金

地域医療基盤開発推進研究事業

病院における薬剤師の働き方の実態を踏まえた生産性の向上と薬剤師
業務のあり方に関する研究

平成 29 年度 総括報告書

研究代表者 武田 泰生

平成 29 (2018) 年 5 月

目 次

I. 総括報告書

病院における薬剤師の働き方の実態を踏まえた生産性の向上 と薬剤師業務のあり方に関する研究	1
1. 研究要旨	1
2. 研究組織	1
3. A. 研究目的	1
4. B. 研究方法	1
5. C. 研究結果	2
6. D. 考察	13
7. E. 結論	14
8. F. 健康危険情報	15
9. G. 研究発表	15
10. H. 知的財産権の出願・登録状況	15

武田泰生
(資料)平成29年度厚生労働科学研究(武田班)パイロット調査表

厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）
総括研究報告書

病院における薬剤師の働き方の実態を踏まえた生産性の向上と薬剤師業務のあり方に関する研究（H29-医療-一般-011）

武田 泰生 鹿児島大学 附属病院 教授

研究要旨

近年の高齢化に伴う疾病構造や医療需要の変化に伴い、我が国における医療提供体制の改革が進められている。その改革を実現するため、入院の医療機能は高度急性期、急性期、回復期、慢性期へ分化され、地域包括ケアシステムが構築されようとしている。このような中、病院薬剤師が活躍するステージは、調剤から病棟へ、そして施設内から地域へ広がりつつあり、薬物治療管理を基盤とする地域医療連携の要として、急速に変化する医療環境に対応・貢献することが求められている。本調査研究は、種々の機能を持つ医療施設の薬剤業務の実態と薬剤師の充足度を、地域ごとに調査・解析し、今後、推進される地域包括ケアのなかで病院薬剤師が果たすべき役割を明らかにするものである。平成 29 年度は全国の病院から地域、病床数、病院機能別に、無作為に抽出した 850 施設を対象にパイロット調査を行い、その分析を行うとともに、調査項目を精査し、より効率的で信憑性の高いデータ解析ができるよう調査項目を設定することを目的にパイロット調査を行った。

研究組織

（研究代表者）

武田 泰生（鹿児島大学 教授、薬剤部長）

（研究分担者）

外山 聡（新潟大学 教授、薬剤部長）

宮崎 美子（昭和薬科大学 教授）

A．研究目的

近年の高齢化に伴う疾病構造や医療需要の変化に伴い、我が国における医療提供体制の改革が進められている中、平成（H）29 年 4 月 6 日に「新たな医療のあり方を踏まえた医師・看護師等の働き方ビジョン検討会報告書」が公表された。その中に「薬剤師の本質が調剤業務に止まることなく、専門的知見を生かし、人材不足に対応しうる効率的で生産性の高い業務にシフトしていくべき」と提言され、調剤から病棟へそして地域へと急速に変化する医療環境に対応・貢献することが求められた。本研究は、病院薬剤師の勤務状況や業務実態の調査を通して、現状を分析し、今後の病床機能別における薬剤業務のあるべき姿や地域包括ケアとの効果的な連携について明らかにすることを目的とする。

B．研究方法

本格調査では、全国の医療機関を対象に病院薬剤師の勤務状況や業務実態に関する 3 項目についてアンケート調査を実施する予定だが、平成 29 年度はその前段階としてのパイロット調査を実施した。対象施設は地域、病床数、病院機能別に無作為抽出した 850 施設とした（表 1）。

調査項目 I は、病院薬剤師の常勤 / 非常勤の区別と人数、勤務時間や定員数の設定・充足状況、入退職や出産・育児等の休業取得状況などの働き方、地域特性や病床機能別施設における薬剤業務の実態の把握と分析、すなわち各施設で行われている薬剤業務の内容に加えてその業務を展開している時間数について調査した。項目 II では、外来診療への関わりについて、効率的で生産性・

厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）
 総括研究報告書

病院における薬剤師の働き方の実態を踏まえた生産性の向上と薬剤師業務の
 あり方に関する研究（H29-医療-一般-011）

武田 泰生 鹿児島大学 附属病院 教授

付加価値の高い業務の事例収集と分析を行った。項目 III は地域包括ケアに向けた多職種連携・地域連携を実施するための業務展開の調査と情報提供の事例収集と分析を行った。本調査については日本病院薬剤師会の全面協力をいただいております、日本病院薬剤師会が平成 29 年 6 月に実施した「病院薬剤部門の現状調査」（本調査は病院薬剤師業務の実態を把握するため、全病院 8500 施設を対象に毎年 6 月に行っているアンケート調査）の結果を合わせて分析することとした。

（倫理面への配慮）

本研究は病院薬剤師の働き方および業務の実態を把握するための調査を主体とした研究であり、人および人に由来するサンプルを使用する臨床研究・臨床試験とは異なる。さらに、患者や医療機関で働く医療スタッフ個々の個人情報に触れる内容も含まれていない。従って、府省庁が規定する倫理指針等に抵触する研究ではないと考えられる。研究代表者および研究分担者は、各所属施設において「厚生労働科学研究対応利益相反マネジメント自己申告」を行い、利益相反マネジメントの対象に該当しないことを確認している。

C. 研究結果

【1. 病院における薬剤業務の生産性・付加価値の実態把握と薬剤師充足度に関する調査・分析】

調査票の回収率は全体で 56.1%であり、特定機能病院の回収率が最も高く 85.7%であった（表 1）。今回の目的の一つは病院機能、地域別における薬剤師充足度に関する調査である。回答した全施設を対象に、常勤換算した薬剤師数 1 人当たりの病床機能別の病床数・外来処方せん枚数を最小二乗法により求めた結果、各々、一般病床で 23 床、療養型で 86 床、精神型で 107 床、特定機能型で 15 床に 1 人、外来処方せんは 22 枚に 1 人（特定機能病院では 27 枚に 1 人）の割合となった。また、地方厚生局管轄内別に全機能施設を対象に、標準薬剤師数に対する充足度を比較した結果、四国および東北地方での充足度が 80%程度と低く（図 1）、特に、一般病院とケアミックス型病院で低い傾向が見られた。

病院種別	合計			特定機能病院			一般病院		
施設数と回収率	対象数	回答数	回収率	対象数	回答数	回収率	対象数	回答数	回収率
合計	849	476	56.1%	84	72	85.7%	331	179	54.1%
20～49床	79	42	53.2%	0	0	-	57	29	50.9%
50～99床	187	94	50.3%	0	0	-	80	38	47.5%
100～299床	348	180	51.7%	0	0	-	99	48	48.5%
300～499床	115	71	61.7%	1	1	100%	69	49	71.0%
500床以上	120	89	74.1%	83	71	85.5%	26	15	57.7%
病院種別	療養病院			精神科病院			ケアミックス		
施設数と回収率	対象数	回答数	回収率	対象数	回答数	回収率	対象数	回答数	回収率
計	126	65	51.6%	114	60	52.6%	194	100	51.5%
20～49床	19	12	63.2%	0	0	-	3	1	33.3%
50～99床	45	28	62.2%	7	3	42.9%	55	25	45.5%
100～299床	55	22	40.0%	75	45	60.0%	119	65	54.6%
300～499床	6	3	50.0%	26	11	42.3%	13	7	53.8%
500床以上	1	0	0.0%	6	1	16.7%	4	2	50.0%

（表 1）パイロット調査の対象施設数と回答施設数、回収率

病院における薬剤師の働き方の実態を踏まえた生産性の向上と薬剤師業務のあり方に関する研究（H29-医療-一般-011）

武田 泰生 鹿児島大学 附属病院 教授

地方別の薬剤師充足度

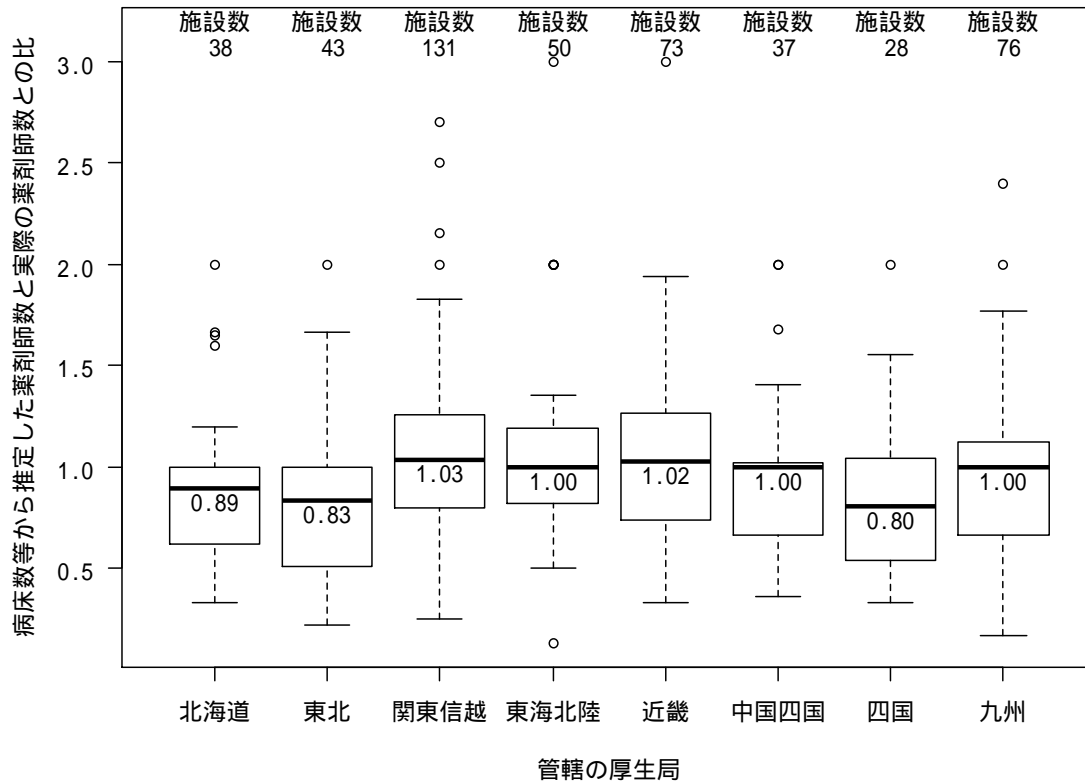


図1. 地方別の薬剤師充足度の比較（全施設平均を1とする）

全施設を対象に同一都道府県内に薬学部の有無による薬剤師充足度の違いを検討した結果、薬学部有では標準薬剤師数に対する比率が四国地方で0.73と低いものの、他地方では1.0前後の充足度を示しているのに対し、薬学部無ではほとんどの地方で充足していない（比率0.57-1.0）ことがわかった（図2）。次に、薬剤師の各業務にかかる時間を分析した結果、100床あたりの1週間の総計時間は、調剤業務で43.4時間、注射薬調剤で20.2時間、無菌製剤処理で10.5時間、病棟業務で61.9時間であり、その他、DI、治験臨床研究、教育研究で6-7時間、ICT等のチーム医療、入院前持参薬管理、医療安全業務等では約3時間ほどであった（図3）。病床機能別に解析した結果（図4. A-E）、興味あることに調剤（内用薬+注射薬）にかかる時間は精神科病院とケアミックス型病院で各々32時間/週、46時間/週と若干少ないが、特定機能病院、一般病院、療養型病院においては約65時間/週と同程度の時間を要していることがわかった。一方、病棟業務においては、特定機能病院の100床あたりの1週間の総時間は89時間であったのに対し、精神科領域で5時間、療養型で10時間、ケアミックス型で32時間、一般病院で61時間と病床機能により大きな差があることがわかった。同様に、病床機能ごとに薬剤師充足度にかかる業務負担を比較した結果、いずれの機能別病院においても、薬剤師充足度が低いところでは調剤にかかる時間の割合が高く、充足度が高くなるにつれて、病棟業務にかかる時間の割合が高くなっていく傾向が認められた。

厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）
 総括研究報告書

病院における薬剤師の働き方の実態を踏まえた生産性の向上と薬剤師業務のあり方に関する研究（H29-医療-一般-011）

武田 泰生 鹿児島大学 附属病院 教授

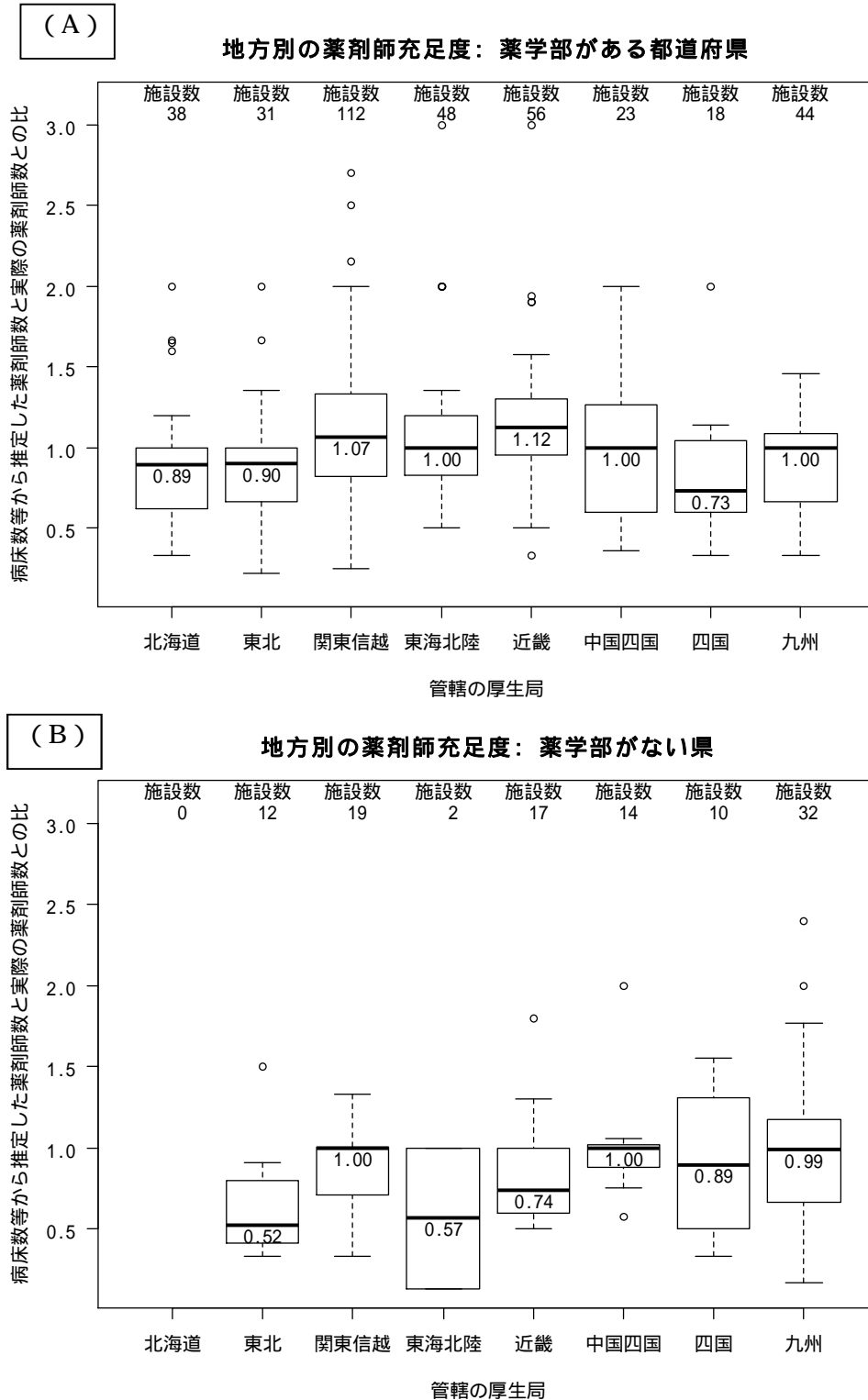


図2. 地方ごとの薬剤師充足度の比較（同一都道府県内に薬学部が(A)ある場合(B)ない場合）

厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）
 総括研究報告書

病院における薬剤師の働き方の実態を踏まえた生産性の向上と薬剤師業務のあり方に関する研究（H29-医療-一般-011）

武田 泰生 鹿児島大学 附属病院 教授

薬剤師の業務時間の分布：全施設

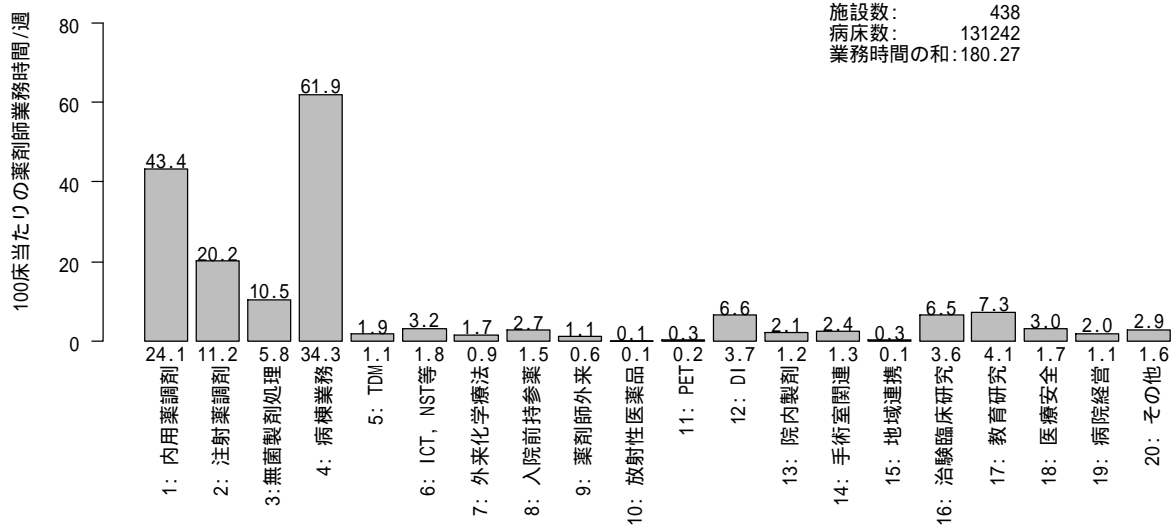


図3. 100床あたりの各薬剤業務時間数（1週間）の比較（全施設対象）

薬剤師の業務時間の分布：特定機能

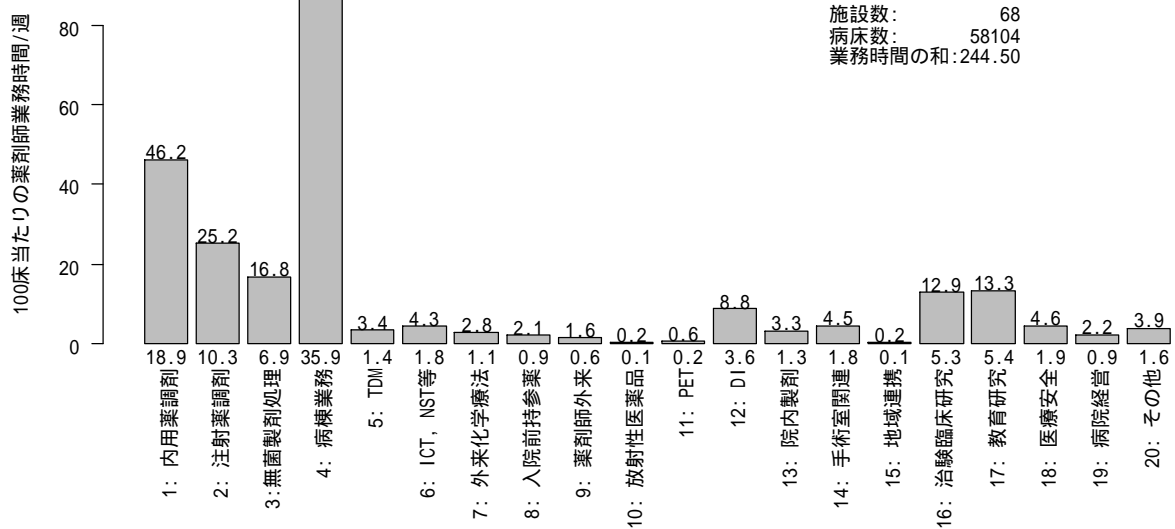


図4A. 100床あたりの各薬剤業務時間数（1週間）の比較（特定機能病院対象）

厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）
 総括研究報告書

病院における薬剤師の働き方の実態を踏まえた生産性の向上と薬剤師業務のあり方に関する研究（H29-医療-一般-011）

武田 泰生 鹿児島大学 附属病院 教授

薬剤師の業務時間の分布：一般

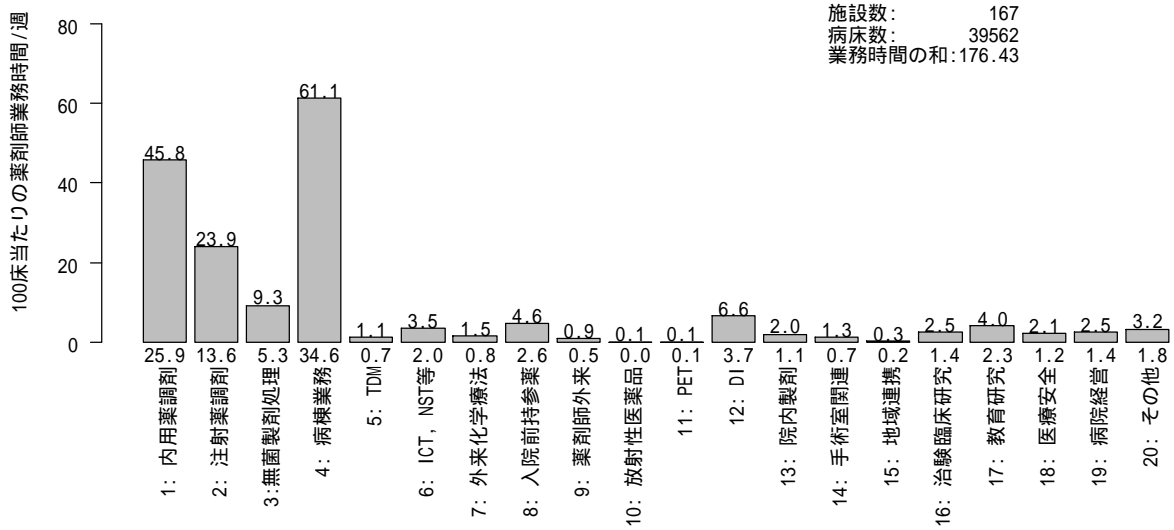


図 4B. 100 床あたりの各薬剤業務時間数（1 週間）の比較（一般病院対象）

薬剤師の業務時間の分布：療養

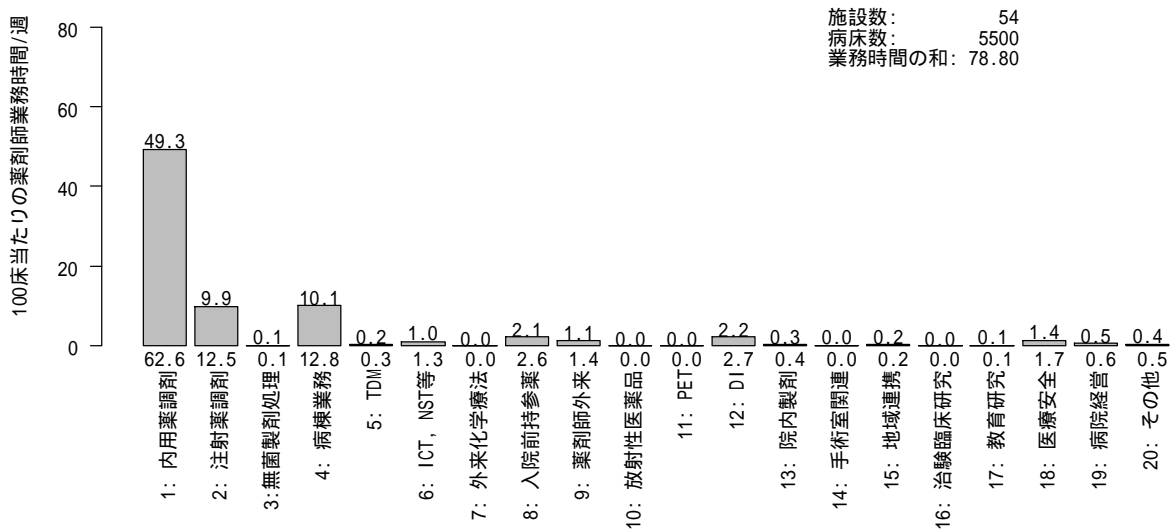


図 4C. 100 床あたりの各薬剤業務時間数（1 週間）の比較（療養型病院対象）

厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）
 総括研究報告書

病院における薬剤師の働き方の実態を踏まえた生産性の向上と薬剤師業務のあり方に関する研究（H29-医療-一般-011）

武田 泰生 鹿児島大学 附属病院 教授

薬剤師の業務時間の分布：精神

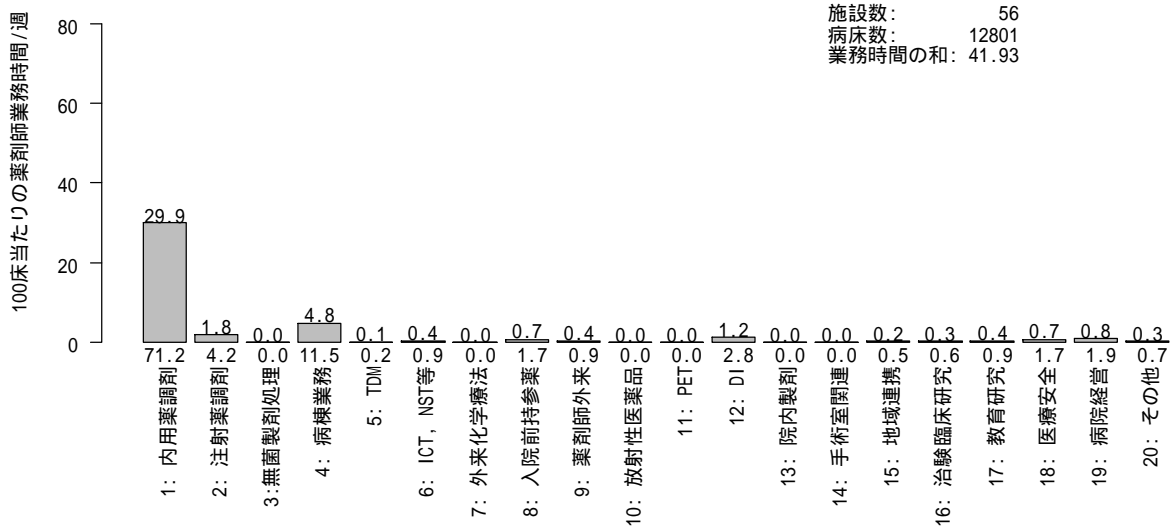


図 4D. 100 床あたりの各薬剤業務時間数（1 週間）の比較（精神科領域病院対象）

薬剤師の業務時間の分布：ケアミックス

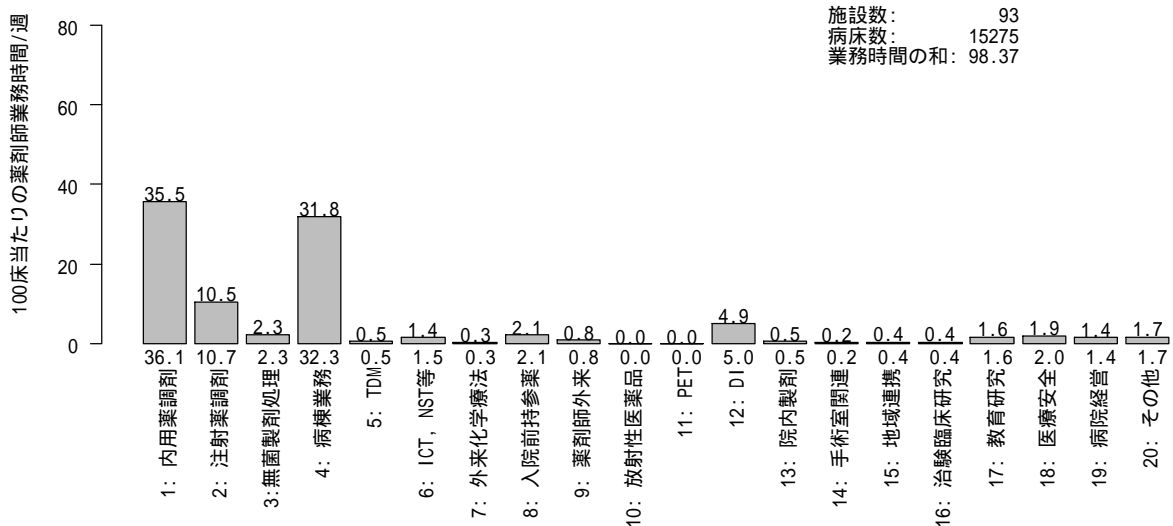


図 4E. 100 床あたりの各薬剤業務時間数（1 週間）の比較（ケアミックス型病院対象）

【 2 . 病院薬剤師の質の高い業務を推進するためのエビデンス構築のための調査】

パイロット調査に先立ち邦文論文と学会要旨のデータベース検索を行い、この結果を参考に、次の15領域について、薬剤師外来の実施の有無、並びに実施の程度と効果の自己評価に関する設問を作成した。15領域：悪性腫瘍（内服薬抗がん剤のみの場合も含む）、悪性腫瘍（注射薬がある場合のみ）、入院前（予定手術前）外来、抗凝固療法（術前を除く）、糖尿病、関節リウマチ、吸入指導、HIV、肝臓病（肝炎）、認知症・精神科、整形外科、周産期（妊婦・授乳婦）、疼痛管理、

厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）
 総括研究報告書

病院における薬剤師の働き方の実態を踏まえた生産性の向上と薬剤師業務のあり方に関する研究（H29-医療-一般-011）

武田 泰生 鹿児島大学 附属病院 教授

腎臓病（CKD）、その他。

パイロット調査の結果、特定機能病院、一般病院、ケアミックス型病院では、それぞれ9割、5割、3割程度の施設で薬剤師外来が実施されていた。薬剤師外来実施施設では、平均2領域が実施されていた。療養型病院、精神科病院では、薬剤師外来が行われている施設の割合は1割弱であり、実施領域数は1程度であった（表2）。

領域別に実施の程度を見ると、悪性腫瘍、入院前（予定手術前）外来、糖尿病、吸入指導、整形外科の5領域は、一般病院の1割程度以上で行われていた。HIV、妊婦・授乳婦の薬剤師外来は、特定機能病院で実施されている割合が高かった（図5）。

病院種別	特定機能	一般	療養	精神	ケアミックス
未実施	9 (12%)	92 (52%)	60 (92%)	55 (92%)	68 (68%)
1領域	8 (11%)	23 (14%)	4 (6%)	4 (7%)	11 (11%)
2領域	20 (27%)	23 (14%)	1 (2%)	1 (3%)	10 (10%)
3領域	24 (33%)	34 (19%)	0 (0%)	0 (0%)	9 (9%)
4領域	4 (6%)	4 (2%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (1%)
5領域	7 (10%)	3 (2%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (1%)
計	72	179	65	60	100
領域数平均	2.7	2.3	1.2	1.2	2.1

表2. 病院種別で区分した「薬剤師外来」の実施領域数ごとの施設数

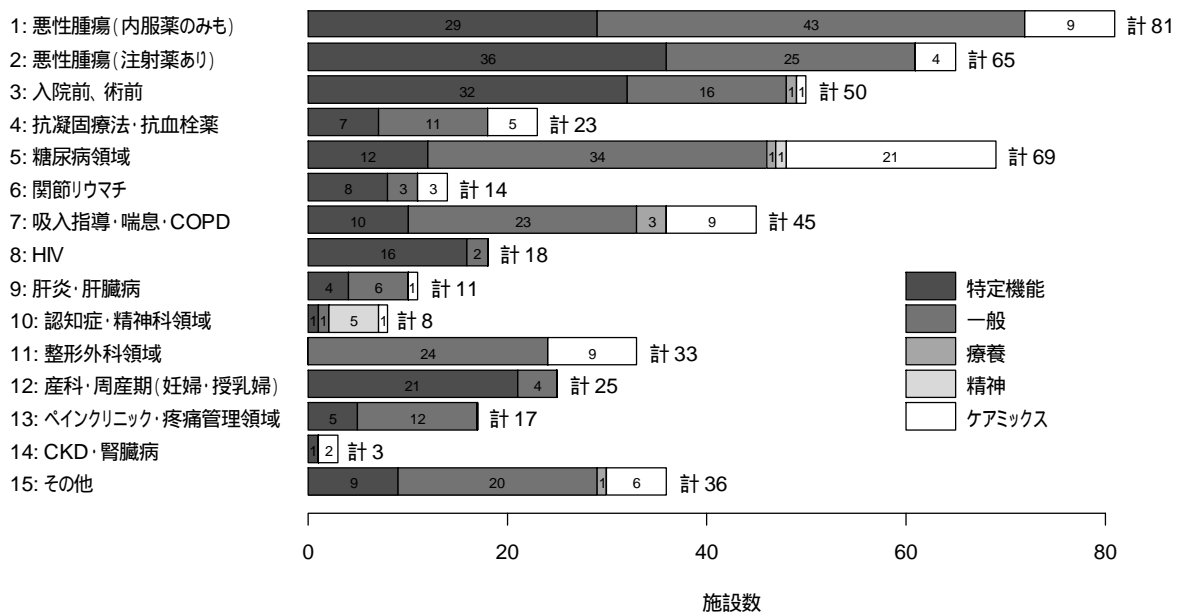


図5. 「薬剤師外来」の領域別の実施設数

薬剤師外来の外来患者に対する実施割合を推測するために、外来処方せん枚数（日本病院薬剤師会の「平成29年度病院薬剤部門の現状調査」の平成29年6月の数値を利用）を用い、外来処方せん枚数に対する薬剤師外来実施患者割合を求めた。関与する患者の割合が最も高かったのは入院

病院における薬剤師の働き方の実態を踏まえた生産性の向上と薬剤師業務のあり方に関する研究（H29-医療-一般-011）

武田 泰生 鹿児島大学 附属病院 教授

前（予定手術前）外来で、外来処方せん枚数に対し5.4%（中央値）の患者に実施していた。外来化学療法と糖尿病領域においても、2%パーセントの患者に薬剤師外来が関与している。他の領域は1%未満であった（図6A）。一般病院で実施が多い5領域では、薬剤師外来1回当たりの業務時間は、領域に依らず0.5時間（中央値）であった（図6B）。また、この5領域の実施施設の6割程度は、当該領域の多くの患者に実施し、8割程度の施設は、実施患者に大きな効果があったとの評価であった（図7A）。効果として最も多く挙げられたのは、入院前（予定手術前）外来では医療安全の向上、他の4領域では治療効果の上昇であった（図7B）。薬剤師外来未実施施設と比して、薬剤師外来実施施設では、薬剤師数が充足している傾向にある。精神科病院では、薬剤師外来実施施設の方が、100床当たりの薬剤師数が有意に多かった（ $p=0.037$ ，マン・ホイットニーのU検定）。精神科病院以外では、薬剤師数の充足だけでは薬剤師外来実施の有無は説明できず、検討が必要である（図8）。

なお、図5の「その他」の回答に成長ホルモン投与に関する回答が散見されたため、これを項目立てすること、図6の右では領域に依らず中央値0.5時間となったため、分単位での回答を求めること等、パイロット調査の結果で判明した問題点は、平成30年度調査において修正し、実施する予定である。

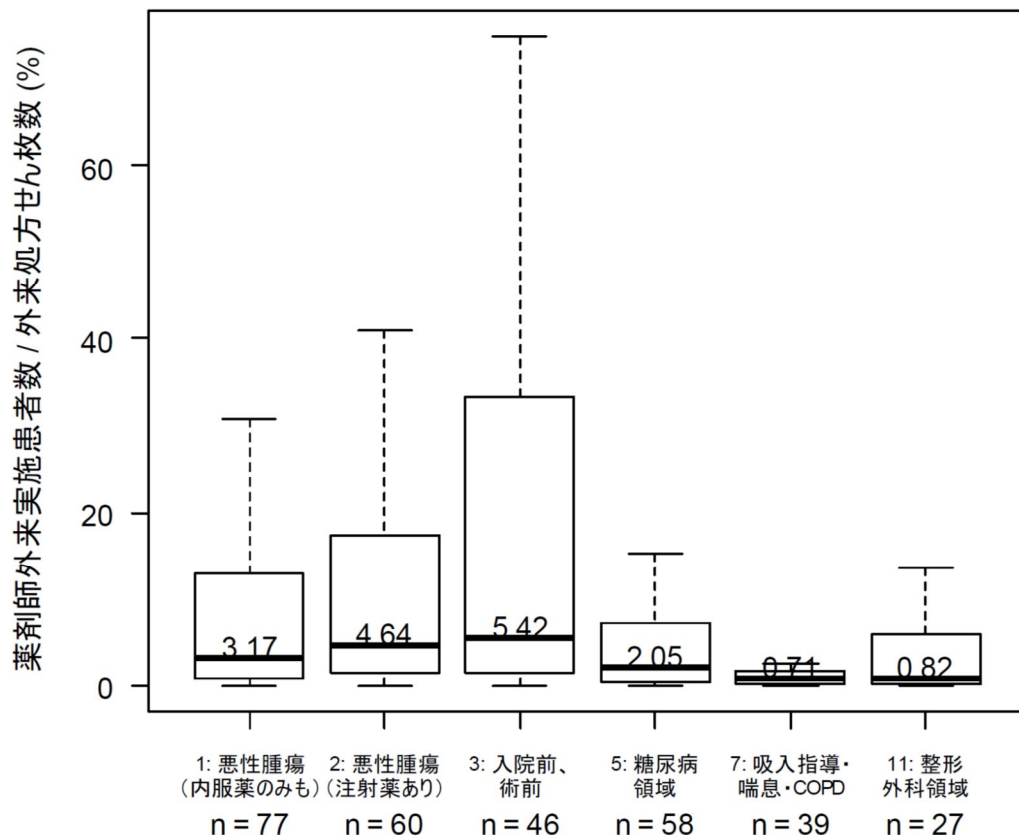


図 6A. 一般病院で一定以上の実施実態があった「薬剤師外来」における処方せん数に対する患者割合

厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）
 総括研究報告書

病院における薬剤師の働き方の実態を踏まえた生産性の向上と薬剤師業務のあり方に関する研究（H29-医療-一般-011）

武田 泰生 鹿児島大学 附属病院 教授

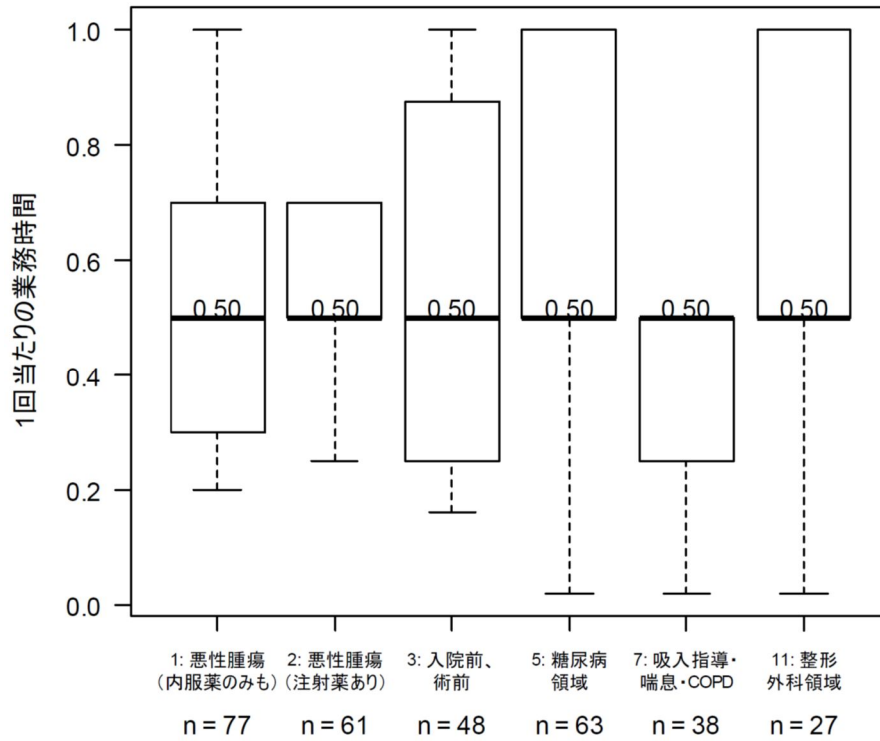


図 6B. 一般病院で一定以上の実施実態があった「薬剤師外来」における 1 回あたり業務時間

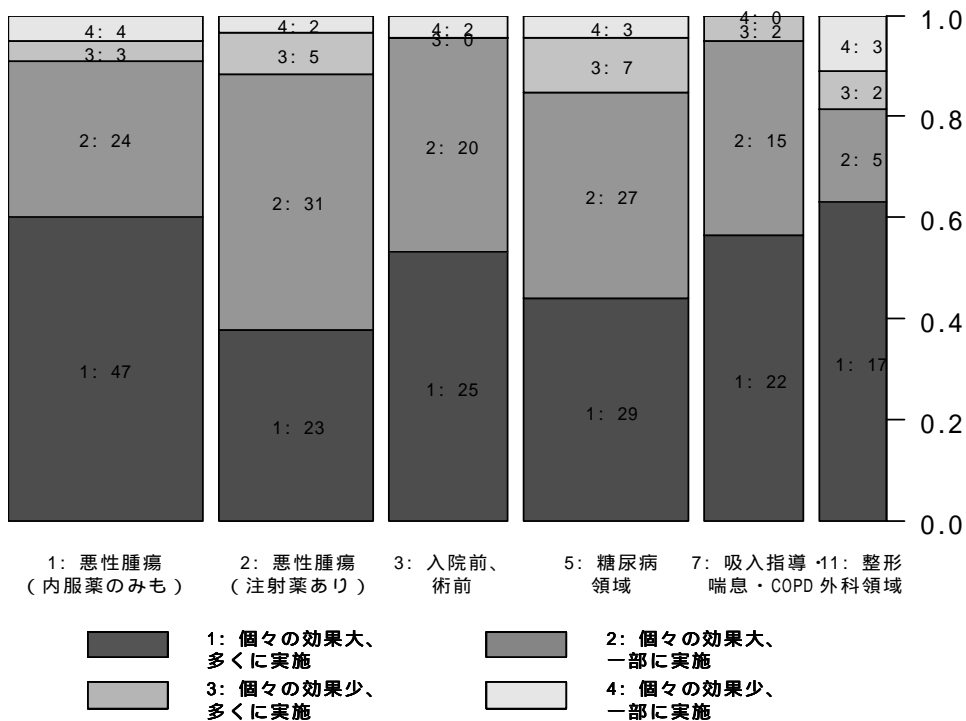


図 7A. 「薬剤師外来」の実施患者割合に関する自己評価

厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）
 総括研究報告書

病院における薬剤師の働き方の実態を踏まえた生産性の向上と薬剤師業務のあり方に関する研究（H29-医療-一般-011）

武田 泰生 鹿児島大学 附属病院 教授

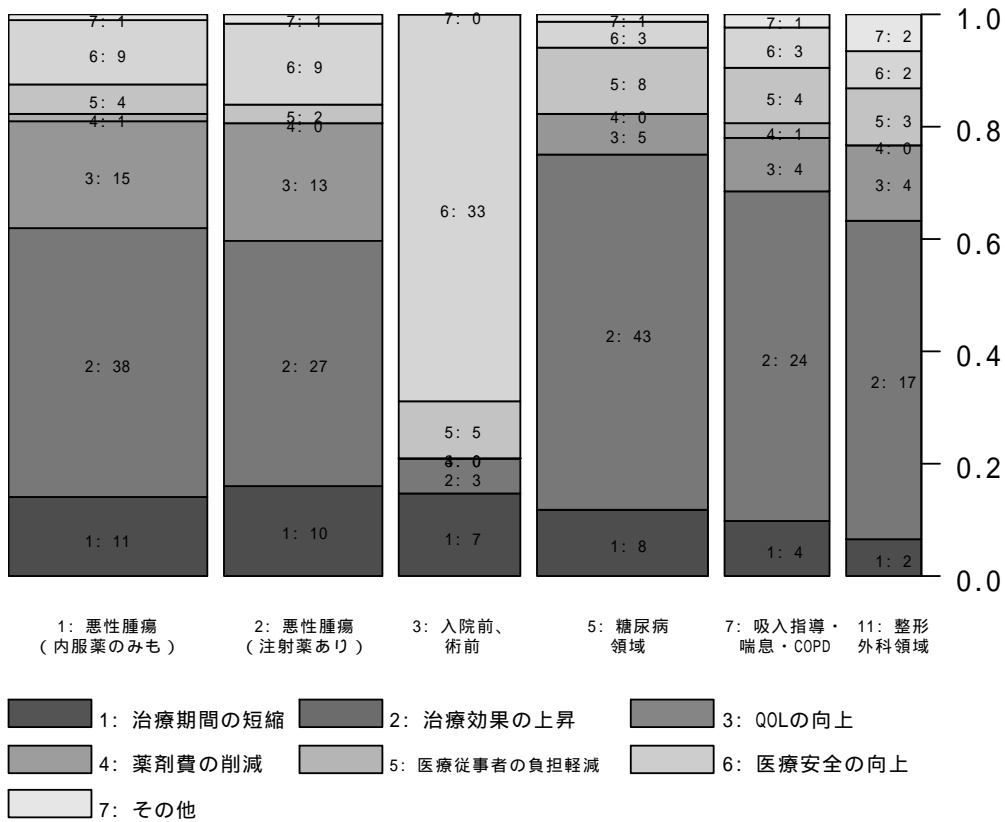


図 7B. 「薬剤師外来」の効果に関する自己評価

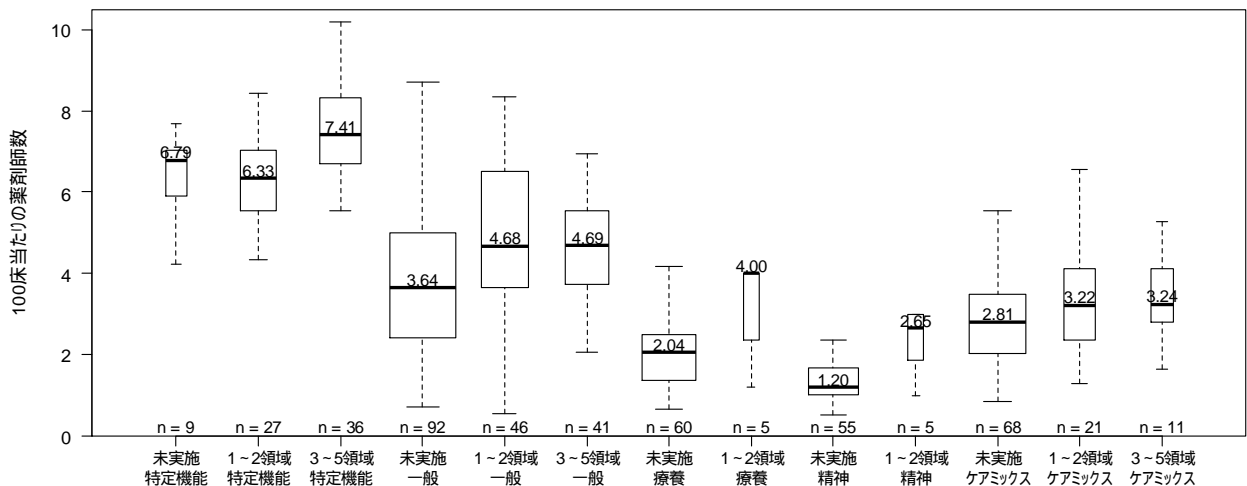


図 8. 薬剤師外来実施領域数と病院種別で区分した 100 床当たりの薬剤師数

厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）
 総括研究報告書

病院における薬剤師の働き方の実態を踏まえた生産性の向上と薬剤師業務のあり方に関する研究（H29-医療-一般-011）

武田 泰生 鹿児島大学 附属病院 教授

【 3 . 地域包括ケアを推進するための、退院時の情報提供のあり方に関する調査】

退院時情報に関わる薬剤師業務では、地域連携室での薬剤師の役割に着目した。回答施設（355施設）の約7割に地域連携室があり、薬剤師の専従は3.5%、専任は1.3%であった（表3）。地域連携室の薬剤師業務では、入院前の服薬状況の確認や薬物治療上の問題点の把握などについて情報提供している職種の割合は病棟薬剤師、看護師、医師の順番であった（図9）。入院中は処方提案、他職種からの相談応需が多かった。退院時には退院時カンファレンスへの参加、在宅医療従事者との情報連携が行われていた（図10）。地域連携室に薬剤師が配置されていない場合でも、3割の施設で薬剤師が地域連携室に関与していた。地域連携クリニカルパスでは薬物治療項目や薬剤シートの作成（特に脳卒中）に薬剤師が2割の施設で関与していた（図11）。

	専従			専任		
	配置施設数	回答施設数	配置率%	配置施設数	回答施設数	配置率%
医師	11	160	6.9	40	156	25.6
薬剤師	6	170	3.5	2	157	1.3
看護師	194	246	78.9	84	186	45.2
MSW	172	233	73.8	37	165	22.4
社会福祉士	137	214	64.0	27	156	17.3
介護福祉士	6	156	3.8	1	143	0.7
理学療法士	3	153	2.0	0	143	0.0
作業療法士	3	156	1.9	2	145	1.4
事務職員	175	233	75.1	42	166	25.3

表3. 連携室人員の各職種配置率

連携室がある施設：74.6%（n=355）

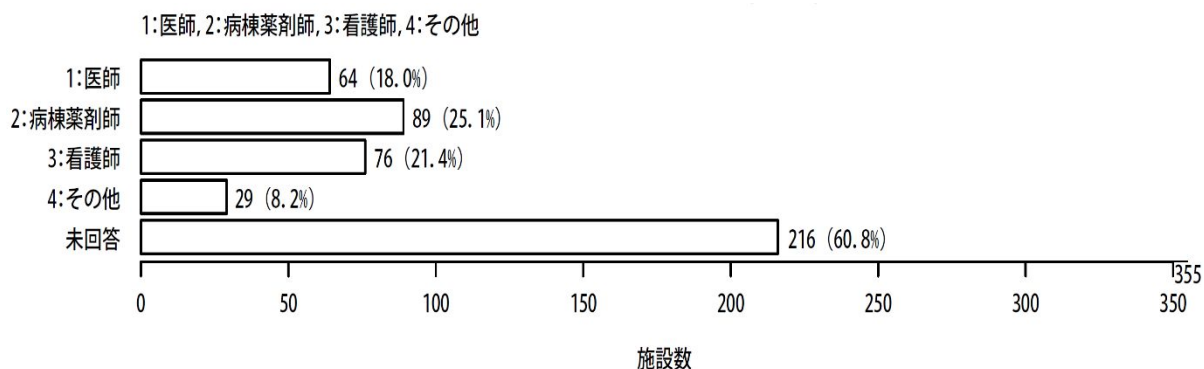


図9. 入院前の服薬状況の確認や薬物治療上の問題点の把握などについて、地域連携室薬剤師が情報提供している職種の割合

厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）
 総括研究報告書

病院における薬剤師の働き方の実態を踏まえた生産性の向上と薬剤師業務のあり方に関する研究（H29-医療-一般-011）

武田 泰生 鹿児島大学 附属病院 教授

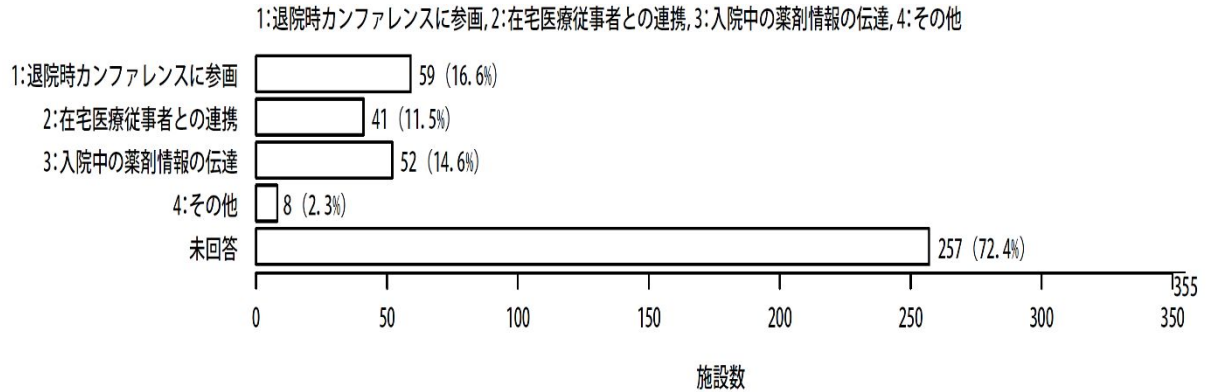


図 10. 退院時の地域連携室薬剤師の情報連携

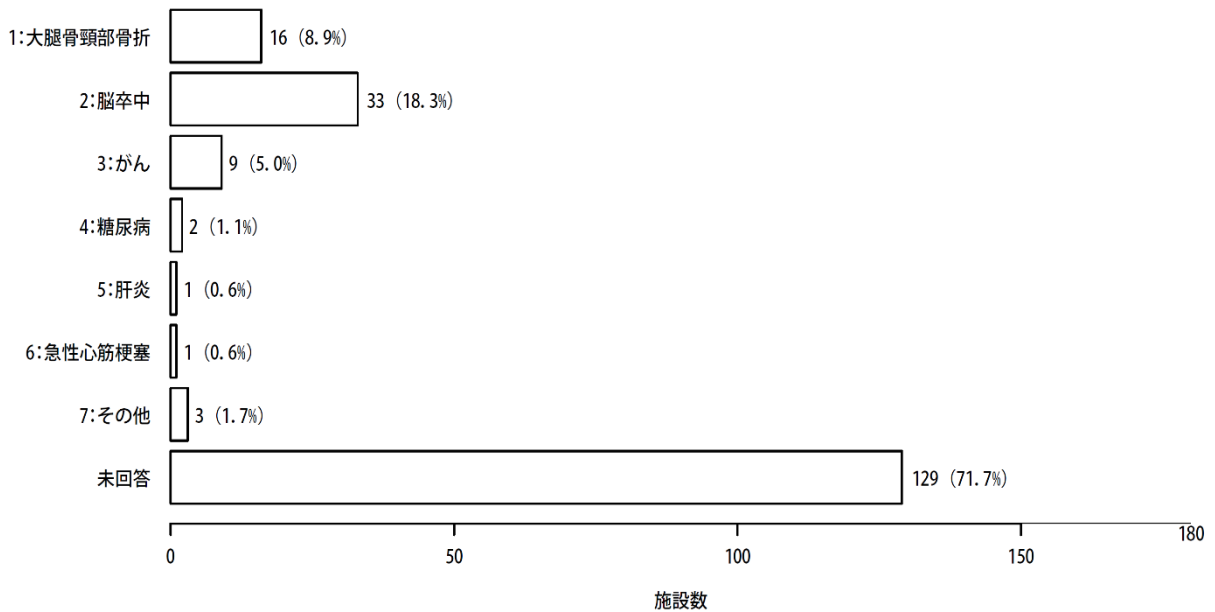


図 11. 連携パスで薬剤シートが作成された疾患

D. 考察

今回の調査の結果は、地域別、病院機能別に薬剤師数が大きく異なっており、充足度が上がるにつれ、病棟へと業務拡大が行われていることが認められた。種々の薬剤業務を対象に調査したが、薬剤師の仕事の大半が内用薬調剤、注射薬調剤、製剤、病棟業務およびDIの5業務に集中しており、特に興味深いのは、調剤業務は病床数（100床）あたりで比較した場合、病院機能には大きく依存せず、薬剤師数が増えるにつれ病棟業務時間が増える傾向にあることが示唆された。全施設（8500施設）を対象とする平成30年度の本格調査では、病棟業務を展開している病院を対象に機能別にどのような内容の業務が行われているかをより詳細に解析する予定である。

病院における薬剤師の働き方の実態を踏まえた生産性の向上と薬剤師業務の
あり方に関する研究（H29-医療-一般-011）

武田 泰生 鹿児島大学 附属病院 教授

E．結論

今回、地域、病院機能、病床数別に、全国から無作為に抽出した 850 病院施設を対象に病院薬剤業務のあり方と薬剤師充足度についてのパイロット調査を行った。

その結果、まず薬剤師充足度については、薬学部がない都道府県において同郷の出身者働いている割合が高く、一方、薬学部がある都道府県においては他県の出身者が働いている割合が高いことがわかった。また病院が規定する薬剤師定数に対し、充足している施設は少なく、病院機能別に解析した結果、平均値として特定機能病院が最も低く約 9 割程度であった。一方、精神科病院において唯一定数を充足しているという結果になった。各施設が規定する 1 週間の所定労働時間に対し、療養型病院における 106% から一般病院の 121% まで、いずれの機能別病院においても所定時間を超える労働が認められた。産前・産後休業、育児休業を取得した薬剤師の代替要員の確保については、60% の施設で確保が出来ておらず、一部確保できた施設が 30% であることが分かった。また育児休業から復帰した薬剤師の割合が 50% に過ぎない事実も明らかになった。

薬剤業務種別にかかる時間について病院機能別に比較した結果、内用薬・注射薬等の調剤業務および交付業務にかかる時間は機能別に大差がないことが明らかとなり、特定機能病院と一般病院で病棟業務にかかる時間が大きく増加していることがわかった。これは病床数あたりの薬剤師数と比例していた。

一方、外来診療に対する関わりは特定機能病院で最も強く化学療法や糖尿病外来の頻度が高かった。アウトカム評価という点では「入院前（予定手術前）外来」について医療安全の向上が認められた。地域連携については、7 割の施設に連携室があったが、専従・専任で薬剤師が配置されているのは 5% に過ぎなかった。

今回のパイロット調査の結果及び施設からの質問や意見は、平成 30 年度本格調査の調査項目の精査・策定に有効活用された。例えば、今回の調査では常勤薬剤師と非常勤薬剤師に分けて業務実態に関する調査を行ったが、薬剤師が不足している多くの施設では SPD や薬剤助手を雇用し、薬剤業務の一部を補助している実態を反映できていないことが判明した。これを受けて、平成 30 年度の本格調査では、非常勤薬剤師は常勤換算して薬剤師として合算し、薬剤師以外の薬剤業務補助を行っている業務内容と時間についても調査対象とすることにした。さらに、「紙媒体の記録では集計が非常に煩雑」との指摘・不満が寄せられたことから、各人の業務記録にかかる負担の軽減を図る目的で、30 分単位のチェックをいれることで自動集計されるエクセルファイルを準備した。加えて、各人の 1 日の業務状況を可視化することを目的に任意でのエクセルファイルの提出も依頼することとした。一方、調査項目については、働き方と専門性との関係性を調べる目的で「専門薬剤師取得状況」「薬剤師のキャリアアップ・生涯研修」に関する項目を新たに追加することとした。各人が使用したエクセルファイルの提出も依頼することとした。また、地域連携に関わる薬剤師業務についての設問では、今回のパイロット調査における保険薬局薬剤師や他職種（ケアマネージャー、訪問看護師）の意見を基に必要な情報についての設問を追加した。

今回の調査は薬剤業務内容のみならず、実施状況や勤務体制及び先駆的事例についても調査対象としたので、その解析結果は今後病床機能別の薬剤業務を展開する上で何が生産性が高く効率的であるか、これからの病院機能分化と連携に相応しい薬剤師の働き方を考える重要な資料となることが期待された。

厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）
総括研究報告書

病院における薬剤師の働き方の実態を踏まえた生産性の向上と薬剤師業務のあり方に関する研究（H29-医療-一般-011）

武田 泰生 鹿児島大学 附属病院 教授

F．健康危険情報

なし

G．研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

（発表誌名巻号・頁・発行年等も記入）

H．知的財産権の出願・登録状況

（予定を含む。）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

平成 29 年度厚生労働科学研究
(地域医療基盤開発推進研究事業)
病院における薬剤師の働き方の実態を踏まえた
生産性の向上と薬剤師業務のあり方に関する研究
プレアンケート調査

貴施設名()
薬剤部科局長所属()
薬剤部科局長氏名()
記入者所属・肩書()
記入者氏名()
記入者連絡先電話番号()
記入者連絡先FAX番号()
連絡先メールアドレス()

- ・平成 29 年度厚生労働科学研究（地域医療基盤開発推進研究事業）「病院における薬剤師の働き方の実態を踏まえた生産性の向上と薬剤師業務のあり方に関する研究」にご協力をいただきありがとうございます。
- ・本研究は、病院薬剤師の勤務状況や業務実態の調査を通して、現状を分析し、今後の病床機能別におけるチーム医療の一員としてのあるべき姿や、地域包括ケアを推進していく中での地域との連携のあり方について明らかにすることを目的としています。
- ・今回実施する調査は、「Ⅰ. 薬剤師の業務・人員について」、「Ⅱ. 薬剤師の外来診療への関わり・薬剤師外来」、「Ⅲ. 退院時情報に関わる薬剤師業務」の三部構成となっています。調査項目が多く、ご負担をおかけいたしますが、よろしくお願い申し上げます。
- ・なお、ご回答いただいた内容は平成29年6月に日本病院薬剤師会が実施した平成29年度病院薬剤部門の現状調査結果と合わせて集計、活用させていただきますので、予めご了承ください。

◎調査票の記入について

- ・数値に関する設問には数値を記入し、該当するもの等がない場合は「0(ゼロ)」をご記入ください。
- ・ご質問等ございましたら、下記お問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

◎調査の回答方法等について

調査票に記入し、同封の返信用封筒を用いて、「日本病院薬剤師会事務局総務課宛」に平成30年2月16日（金）**必着**でご郵送をお願いいたします。

◎この調査に関するお問い合わせ先：

日本病院薬剤師会事務局総務課 電話番号：(03)3406-0485, メールアドレス:somu@jshp.or.jp

I. 薬剤師の業務・人員について

1. 薬剤師について(2018年1月2日現在)

(1) 薬剤部門の薬剤師数について		
	常勤	非常勤 (パート職員も含む)
(A) 薬剤部門に在籍している薬剤師数	人	人 (非常勤の常勤換算) 人
(B) 薬剤部門の薬剤師定数	人	人 (非常勤の常勤換算) 人
(C) 定数に対する欠員数	人	人 (非常勤の常勤換算) 人
(2) (A) 貴施設が理想とする薬剤師数	人(常勤換算した合計数)	
※貴薬剤部が医師ならびに看護師より求められている業務で、薬剤師が実施すべきだと考える業務を実施するとして必要だと考えられる人数をご記載下さい。		
(B) 貴施設の機能を維持するために最低限必要と考える薬剤師数	人(常勤換算した合計数)	
(3) 貴施設がある都道府県内に薬学部はありますか	<input type="checkbox"/> 1:ある, <input type="checkbox"/> 2:ない(→(5)へ)	
(4) (3)で薬学部がくある>場合、薬剤師の中で貴施設と同一都道府県内の薬学部出身者は何人いますか	常勤	非常勤 (パート職員も含む)
	人	人
(5) (3)で薬学部がくない>場合、薬剤師の中で貴施設と同一都道府県出身者(ふるさと就職者)は何人いますか	常勤	非常勤 (パート職員も含む)
	人	人

2. 薬剤師の週休制、勤務時間等について(2018年1月2日現在)

(1) 常勤薬剤師の週休制について該当するもの1つにチェックをつけてください。			
<input type="checkbox"/> 1: 週休1日制または週休1日半制, <input type="checkbox"/> 2: 完全週休2日制より休日日数が実質的に少ない制度, (例: 月3回、隔週、月2回、月1回の週休2日制の他、3勤務1休、4勤務1休等) <input type="checkbox"/> 3: 完全週休2日制, <input type="checkbox"/> 4: 完全週休2日制より休日日数が実質的に多い制度。 (例: 月1回以上週休3日制、3勤務3休、3勤務4休など)			
(2) 常勤薬剤師の1週間あたりの所定労働時間	時間	分 / 週	
(3) 薬剤師の1週間あたりの平均実労働時間 ※2018年1月21日～2018年2月10日までの3週間のうち、任意の連続した7日間、超過勤務等を含む	任意の7日間: 月 日 ~ 月 日		
	常勤	非常勤	
	時間 分 / 週	時間	分 / 週

3. 薬剤師の入退職について (2017年1月～2017年12月までの1年間)

(1) 入職薬剤師数	常勤	非常勤 (パート職員も含む)				
	人	人				
(2) (1)の内2017年に薬剤師免許を取得した者	常勤	非常勤 (パート職員も含む)				
	人	人				
(3) 退職薬剤師数	常勤	非常勤 (パート職員も含む)				
	人	人				
(4) (3)の内、次の退職理由に該当する人数 ※把握している範囲で差し支えありません。1人当たり主要な理由1つでご記載下さい。						
	1. 勤務時間	2. 結婚	3. 出産育児	4. 介護看護	5. 定年または 契約満了	6. 1.～5.以外 ※明確な理由のみ
常勤薬剤師	人	人	人	人	人	人
非常勤薬剤師 (パート職員も含む)	人	人	人	人	人	人

4. 薬剤師の産前・産後休業、育児休業について (2017年1月～2017年12月までの1年間)

(1) 産前・産後休業、育児休業を取得している薬剤師がいますか。 □1: いる (___人), □2: いない (→(4)へ).

(2) (1)で取得者がくいる>場合、代替要員について該当するもの1つにチェックをつけてください。
□1: 全て確保した, □2: 一部確保した, □3: 全く確保しなかった (できなかった) (→(4)へ).

(3) (2)で代替要員を<確保した>場合、人員について該当するもの全てにチェックをつけてください。
□1: 常勤職員を採用した, □2: 非常勤職員を採用した, □3: その他 () .

(4) 産前・産後休業、育児休業から復帰した薬剤師がいますか。
□1: いる (___人), □2: いない (全員継続して休業中) (→(6)へ),
□3: 産前・産後休業、育児休業取得なし (→(6)へ).

(5) (4)で復帰した者がくいる>場合、復帰者に該当するもの全てにチェックをつけてください。
□1: 復帰時に再教育を受けた (___人)
□2: 休業前より負担が軽度な業務に担当を変更した (___人),
□3: 短時間勤務制度を利用した (___人)

(6) 産前・産後休業、育児休業取得者への復職支援で該当するもの全てにチェックをつけてください。
□1: 自施設で実施した (___人), □2: 自治体、他施設等の研修に参加した (___人),
□3: 実施しなかった, □4: 産前・産後休業、育児休業取得なし.

5. 薬剤業務にかかる人員と時間について

(2018年1月21日～2018年2月10日までの3週間のうち、任意の連続した7日間)

以下の薬剤業務に要する人員ならびに時間についてお聞きします。表1および表2の業務について担当している人員、業務時間およびその実施率についてご記入ください。

(記載要領)

- ・1週間あたりの業務時間：勤務時間外に業務を行った時間（超勤）も含んだ連続した7日間の延べ時間（土日を含む日勤帯の業務を終了するに要する時間、関わった全員分の総合計時間）を記入してください。可能であれば0.5時間（約30分）刻みでご記入ください。その業務を行っていない場合は「0」と記入してください。
- ・実施の有無とその程度：その業務を全ての患者、事例、ニーズに対し、実施できている場合を100%として、80%以上実施できている場合「1」を、50%程度以上の場合「2」を、50%には満たないが実施している場合には「3」を、実施していない場合には「4」を選択してください。

A. 薬剤業務関連全般について（表1）

No.	業務内容	1週間あたりの業務時間（時間）		実施の有無とその程度 1: 80%以上実施 2: 50%以上実施 3: 50%未満実施 4: 未実施
		薬剤師	薬剤師以外	
(1)	内用薬・外用薬調剤・交付業務			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(1)-2	そのうち外来患者に対する業務			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(2)	注射薬調剤業務			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(2)-2	そのうち外来患者に対する業務			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(3)	無菌製剤処理業務			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(3)-2	そのうち外来患者に対する業務			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(4)	病棟業務（ICU等を含む）			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(4)-2	そのうち病棟薬剤業務（詳細は表2）			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(4)-3	そのうち薬剤管理指導			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(4)-4	そのうち退院時薬剤管理指導			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(5)	治療薬物モニタリング（TDM）業務			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(6)	チーム医療（ICT, NST, 緩和など）			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(7)	外来化学療法室での患者指導業務			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(8)	入院前の持参薬確認業務			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(9)	薬剤師外来業務			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(10)	放射性医薬品に関する業務			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(11)	PET用放射性医薬品に関する業務			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(12)	医薬品情報管理業務			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(13)	院内製剤調製・試験業務			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(14)	手術室関連業務			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(15)	連携・地域医療に関する業務			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(15)-2	そのうち退院時共同指導			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(15)-3	そのうち在宅患者訪問薬剤管理指導			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(16)	治験・臨床研究関連業務			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(17)	教育・研究業務（実習生指導を含む）			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(18)	医療・医薬品安全に関する業務			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(19)	病院経営に関する業務			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(20)	その他（ ）			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(21)	その他（ ）			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(22)	その他（ ）			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(23)	その他（ ）			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(24)	その他（ ）			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
合計	1-2、2-2、3-2、4-2、4-3、4-4、15-2、15-3を除く合計			

B. 病棟薬剤業務関連について（表2）

No.	病棟薬剤業務内容	1週間あたりの業務時間（時間）		実施の有無とその程度 1: 80%以上実施 2: 50%以上実施 3: 50%未満実施 4: 未実施
		薬剤師	薬剤師以外	
(26)	医薬品の投薬・注射状況の把握（26-1～6の合計）			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(26)-1	・カルテからの情報収集			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(26)-2	・初回面談			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(26)-3	・面談による患者情報の把握 （効果・副作用・コンプライアンス・残薬など）			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(26)-4	・注射薬の投与ルートの確認			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(26)-5	・カンファレンス・回診等への参加			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(26)-6	(26)について他に先駆的事例があれば記載してください			
	a ()			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
	b ()			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
	c ()			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
	d ()			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
	e ()			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(27)	医薬品安全性情報等の把握及び周知並びに医療従事者からの相談応需（27-1～4の合計）			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(27)-1	・病棟でのDI業務（情報収集・加工）			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(27)-2	・他職種（から/へ）の相談応需・情報提供			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(27)-3	・患者使用薬剤の安全性情報等の主治医への提供			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(27)-4	(27)について他に先駆的事例があれば記載してください			
	a ()			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
	b ()			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
	c ()			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
	d ()			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
	e ()			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(28)	入院時の持参薬の確認及び服薬計画の提案			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(29)	2種以上の薬剤を同時に投与する場合における投与前の相互作用の確認			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(30)	患者等に対するハイリスク薬等に係る投与前の詳細な説明			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(31)	薬剤の投与にあたり、流量又は投与量の計算等の実施			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(32)	その他（32-1～5の合計）			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(32)-1	・カルテ等への記録			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(32)-2	・医師との処方内容協議（提案等）			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(32)-3	・無菌製剤処理			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(32)-4	・定数配置薬使用状況確認			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
(32)-5	(32)について他に先駆的事例があれば記載してください			
	a ()			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
	b ()			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
	c ()			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
	d ()			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.
	e ()			<input type="checkbox"/> 1, <input type="checkbox"/> 2, <input type="checkbox"/> 3, <input type="checkbox"/> 4.

6. 薬剤業務の効率化に向けた機器導入について(2017年6月1日現在)

※「平成29年度病院薬剤部門の現状調査」(2017年6月実施)のデータと併せて集計・活用させていただきます。データの収集にお手数をおかけし大変申し訳ございませんが、2017年6月1日時点のデータ記載にご協力いただきますよう、お願い致します。

(1) 調剤業務を効率化するために導入されている調剤機器がある場合、該当するもの全てにチェックをつけてください。 ※ピッキングサポートシステム：薬品ピッキング時に処方せんを見ながら薬品棚に貼りつけたバーコードを読み取る機器		
<input type="checkbox"/> 1: 散薬調剤ロボット, <input type="checkbox"/> 4: 全自動散薬分包機, <input type="checkbox"/> 7: ピッキングサポートシステム(※), <input type="checkbox"/> 9: 最終鑑査支援装置, <input type="checkbox"/> 12: 錠剤粉碎機, <input type="checkbox"/> 14: その他(<input type="checkbox"/> 2: 全自動PTPシート払出装置, <input type="checkbox"/> 5: 水剤分注装置, <input type="checkbox"/> 10: 投薬画像記録システム, <input type="checkbox"/> 13: 錠剤半錠機,	<input type="checkbox"/> 3: 全自動錠剤分包機, <input type="checkbox"/> 6: 調剤鑑査システム, <input type="checkbox"/> 8: 持参薬鑑別支援装置, <input type="checkbox"/> 11: 軟膏自動混合器,)
(2) 注射処方せん枚数等(2017年6月1ヵ月間)をご記入ください。ない場合 0(ゼロ)とご記入ください。		
	枚数(2017年6月1ヵ月間)	
(A) 入院注射処方せん枚数		枚
(B) 外来注射処方せん枚数		枚
(3) 注射薬調剤業務を効率化するために導入されている機器がある場合、該当するもの全てにチェックをつけてください。		
<input type="checkbox"/> 1: 注射薬自動払出装置, <input type="checkbox"/> 2: 注射返品薬自動仕分け機, <input type="checkbox"/> 3: 注射返品薬払出機, <input type="checkbox"/> 4: その他()		
(4) 無菌製剤処理業務を効率化するために導入されている機器がある場合、該当するもの全てにチェックをつけてください。		
<input type="checkbox"/> 1: 抗がん薬混合調製ロボット, <input type="checkbox"/> 2: 抗がん薬調製支援システム, <input type="checkbox"/> 3: インフューザーポンプ注入アシスト機, <input type="checkbox"/> 4: 抗がん剤調製監査システム, <input type="checkbox"/> 5: その他()		

II. 薬剤師の外来診療への関わり・薬剤師外来

2017年6月以降の状況について、ご回答ください。

薬剤師が、薬剤師外来・外来患者指導・外来診療支援業務を行っていますか。	<input type="checkbox"/> 1: 行っている, <input type="checkbox"/> 2: 行っていない. (→第Ⅱ部の以下の回答は不要、「Ⅲ. 退院時情報に関わる薬剤師業務」へお進みください)			
(1) 業務の領域 以下の1～15から、業務量の多い順に1領域以上5領域以内を選択してください。				
1	2	3	4	5
1: 悪性腫瘍（内服薬のみの患者も含む）：診療科ではなく、外来化学療法部門等で実施, 2: 悪性腫瘍（内服薬のみの患者は含まない）：診療科ではなく、外来化学療法部門等で実施, 3: 入院前、術前：診療科ではなく、入退院センター等で実施, 4: 抗凝固療法・抗血栓薬（周術期中止・再開を除く）， 5: 糖尿病領域, 6: 関節リウマチ, 7: 吸入指導・喘息・COPD, 8: HIV, 9: 肝炎・肝臓病, 10: 認知症・精神科領域, 11: 整形外科領域（骨粗鬆症を含む）, 12: 産科・周産期（妊婦・授乳婦の薬物療法を含む）, 13: ペインクリニック・疼痛管理領域, 14: CKD・腎臓病, 15: その他(対応する回答欄（回答欄1～回答欄5）に具体的な名称を記入).				

選択した領域毎に、回答欄1～回答欄5の「(2)業務日」～「(8)効果とその自己評価」を記入してください。

回答欄1 ※(1)業務の領域 で、1に記入した領域について記入してください。

領域の番号（再掲）	名称（番号が15の場合は必須、1～14の場合は任意）		
(2) 業務日 業務日を1～5から1つ選択し、その番号を記入してください。			
1: 病院が外来診療を行っている全ての日, 2: 曜日を決めて実施 →備考欄に曜日を記入（例：火・木）, 3: 医師等から要請がある都度、その当日に実施, 4: 予約制（医師等から要請後、日時を決めて実施）, 5: その他 →備考欄に具体的に記入.			
番号	備考（番号が2、5の場合は必須）		
(3) 1か月の業務量 1か月に面談・支援する患者数、それに対応する薬剤師数、1回の面談・支援に要する平均時間を数値で記入ください。2017年6月以降の任意の1か月で結構ですが、どの月の業務量か、その期間を記入ください。		患者数	人
		薬剤師数	人
		平均時間	時間
		期間	201 年 月
(4) 形式・職種 業務の形式を1～4から1つ選択し、その番号を記入してください。			
1: 薬剤師が、患者1人に面談し、説明、指導等を行う（薬剤師は1人でも複数でもよい） →備考欄に医師の外来診療に対する面談のタイミング（診察前、診察後、診察後の別の日、など）を、 職種欄に面談に関わる他職種（例：医師・事務職、薬剤師のみ場合は「なし」）を記入, 2: 薬剤師が、医師の外来診療に同席する（備考欄、職種欄の記入は任意）, 3: 薬剤師が、複数の患者を対象に説明、指導等を行う（糖尿病教室など）, →備考欄に医師の外来診療に対する指導等のタイミング（診察前、診察後、診察の別の日、など）を、 職種欄に指導等に関わる他職種（例：医師・事務職、薬剤師のみ場合は「なし」）を記入, 4: その他 →備考欄に具体的な形式を、職種欄に業務に関わる他職種を記入 （例：医師・事務職、薬剤師のみ場合は「なし」）を記入.			
番号	備考	職種	
(5) 業務場所 業務場所を1～7から1つ選択し、その番号を記入してください。			
1: 外来診療施設（診察室、外来化学療法室・通院治療室等）, 2: 専用の個別ブース等（着席可能、プライバシーは保たれている）, 3: 専用の開放ブース等（着席可能、プライバシーは保たれない恐れ）, 4: 使用していない診察室等（兼用の場所、着席可能、プライバシーは保たれている）, 5: 検討会室・待合室の一角等（兼用の場所、着席可能、プライバシーは保たれない恐れ）, 6: カウンター・投薬窓口等（通常は立って対応、プライバシーは保たれない恐れ）, 7: その他 →備考欄に具体的に記入.			
番号	備考		

(6) 確認・介入内容 業務時に実施する確認・介入内容の実施の有無を記入してください。		
A: 医師と共同で作成したプロトコルに基づく薬物療法管理	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.	
B: 薬物療法の治療効果・副作用の確認	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施 (→Cへ).	
B1: 治療効果・副作用の確認に基づく同一処方継続の提案	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.	
B2: 治療効果・副作用の確認に基づく用量調整の提案(処方薬の追加・削除を伴わない)	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.	
B3: 治療効果・副作用の確認に基づく処方提案(処方薬の追加・削除を伴う)	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.	
B4: 治療効果・副作用の確認に基づく検査・TDMの実施の提案	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.	
C: 服薬アドヒアランスの確認	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施 (→Dへ).	
C1: 服薬アドヒアランスの確認に基づく処方日数の調整の提案	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.	
D: 持参薬を含む使用薬物の確認(OCT薬を含む)	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施 (→Eへ).	
D1: 確認に基づく処方変更の提案(重複薬剤中止、同一成分の採用がない場合の代替薬、術前中止薬等)	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.	
E: サプリメント・特定保健用食品・健康食品・食事(サプリメント等)に関する説明と使用状況確認	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施 (→Fへ).	
E1: サプリメント等の確認に基づく処方変更・用量調整の提案	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.	
F: デバイスの使用手技の説明と手技の習熟度の確認	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施 (→Gへ).	
F1: デバイスの使用手技の説明と手技の習熟度の確認と、確認結果の他職種への情報提供や使用デバイス変更の提案	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.	
G: 確認・介入内容の情報の院外(保険薬局等)への提供 実施の場合は主な情報提供先を1つ記入	<input type="checkbox"/> 1:実施 提供先(), <input type="checkbox"/> 2:未実施.	
(7) 記録方法 記録方法を1~4から1つ選択し、その番号を記入してください。		
1: 病院医療情報システム等(病院内で記録内容が共有され、他職種も記録内容を確認可能),		
2: 診療科等に保管するカルテ等(診療科等では、他職種も記録内容を確認可能),		
3: 薬剤師用の記録簿等(他職種が記録内容を確認する場合は、薬剤師を介する必要がある),		
4: その他 →備考欄に具体的に記入.		
番号	備考	
(8) 効果とその自己評価		
該当領域の外来診療支援業務を薬剤師が行う効果について、最も効果が大きいと考えるものについて、効果1~7から1つ選択し、効果1欄に記入してください。その効果の自己評価を、評価1~4から1つ選択し、評価1欄に記入してください。その次に効果が大きいと考えるものについても、同様に効果2欄、評価2欄に記入してください。		
効果		
1: 治療期間の短縮:薬物療法の最適化(副作用回避を含む)等による,		
2: 治療効果の上昇:服薬アドヒアランスの向上等による(副作用回避を含む),		
3: QOLの向上:薬剤の種類・量の削減等に伴う(副作用回避を含む),		
4: 薬剤費の削減,		
5: 医療従事者の負担軽減,		
6: 医療安全の向上,		
7: その他→備考欄に具体的に記入.		
評価		
1: 個々の患者への効果は大きく、対象患者の多くに実施しており、良好である,		
2: 個々の患者への効果は大きい、対象患者の一部にしか実施していない,		
3: 個々の患者に十分な効果は得られていないが、対象患者の多くに実施している,		
4: 対象患者の一部にしか実施できず、個々の患者にも十分な効果は得られていない.		
効果1	評価1	備考1
効果2	評価2	備考2

回答欄 2 ※(1)業務の領域 で、2に記入した領域について記入してください。

記入方法・選択肢は「回答欄1」を参照ください。

領域の番号 (再掲)		名称 (番号が 15 の場合は必須、1~14 の場合は任意)					
(2) 業務日	番号	備考 (番号 2, 5 は必須)					
(3) 1 か月の業務量				期間	201 年 月		
患者数	人	薬剤師数	人	平均時間	時間		
(4) 形式・職種	番号	備考		職種			
(5) 業務場所	番号	備考					
(6) 確認・介入内容 業務時に実施する確認・介入内容の実施の有無を記入してください。							
A:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.		C1:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.			
B:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施 (→Cへ).		D:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施 (→Eへ).			
B1:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.		D1:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.			
B2:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.		E:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施 (→Fへ).			
B3:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.		E1:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.			
B4:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.		F:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施 (→Gへ).			
C:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施 (→Dへ).		F1:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.			
G:	<input type="checkbox"/> 1:実施 提供先 (), <input type="checkbox"/> 2:未実施.						
(7) 記録方法	番号	備考					
(8) 効果とその自己評価							
効果 1	評価 1	備考 1					
効果 2	評価 2	備考 2					

回答欄 3 ※(1)業務の領域 で、3に記入した領域について記入してください。

記入方法・選択肢は「回答欄1」を参照ください。

領域の番号 (再掲)		名称 (番号が 15 の場合は必須、1~14 の場合は任意)					
(2) 業務日	番号	備考 (番号 2, 5 は必須)					
(3) 1 か月の業務量				期間	201 年 月		
患者数	人	薬剤師数	人	平均時間	時間		
(4) 形式・職種	番号	備考		職種			
(5) 業務場所	番号	備考					
(6) 確認・介入内容 業務時に実施する確認・介入内容の実施の有無を記入してください。							
A:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.		C1:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.			
B:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施 (→Cへ).		D:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施 (→Eへ).			
B1:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.		D1:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.			
B2:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.		E:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施 (→Fへ).			
B3:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.		E1:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.			
B4:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.		F:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施 (→Gへ).			
C:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施 (→Dへ).		F1:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.			
G:	<input type="checkbox"/> 1:実施 提供先 (), <input type="checkbox"/> 2:未実施.						
(7) 記録方法	番号	備考					
(8) 効果とその自己評価							
効果 1	評価 1	備考 1					
効果 2	評価 2	備考 2					

回答欄 4 ※(1)業務の領域 で、4に記入した領域について記入してください。

記入方法・選択肢は「回答欄 1」を参照ください。

領域の番号 (再掲)		名称 (番号が 15 の場合は必須、1~14 の場合は任意)					
(2) 業務日		番号	備考 (番号 2, 5 は必須)				
(3) 1 か月の業務量					期間	201 年	月
患者数		人	薬剤師数		人	平均時間	時間
(4) 形式・職種	番号		備考		職種		
(5) 業務場所	番号		備考				
(6) 確認・介入内容 業務時に実施する確認・介入内容の実施の有無を記入してください。							
A:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.			C1:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.		
B:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施 (→Cへ).			D:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施 (→Eへ).		
B1:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.			D1:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.		
B2:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.			E:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施 (→Fへ).		
B3:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.			E1:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.		
B4:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.			F:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施 (→Gへ).		
C:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施 (→Dへ).			F1:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.		
G:	<input type="checkbox"/> 1:実施 提供先 (), <input type="checkbox"/> 2:未実施.						
(7) 記録方法	番号		備考				
(8) 効果とその自己評価							
効果 1	評価 1	備考 1					
効果 2	評価 2	備考 2					

回答欄 5 ※(1)業務の領域 で、5に記入した領域について記入してください。

記入方法・選択肢は「回答欄 1」を参照ください。

領域の番号 (再掲)		名称 (番号が 15 の場合は必須、1~14 の場合は任意)					
(2) 業務日		番号	備考 (番号 2, 5 は必須)				
(3) 1 か月の業務量					期間	201 年	月
患者数		人	薬剤師数		人	平均時間	時間
(4) 形式・職種	番号		備考		職種		
(5) 業務場所	番号		備考				
(6) 確認・介入内容 業務時に実施する確認・介入内容の実施の有無を記入してください。							
A:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.			C1:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.		
B:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施 (→Cへ).			D:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施 (→Eへ).		
B1:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.			D1:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.		
B2:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.			E:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施 (→Fへ).		
B3:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.			E1:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.		
B4:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.			F:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施 (→Gへ).		
C:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施 (→Dへ).			F1:	<input type="checkbox"/> 1:実施, <input type="checkbox"/> 2:未実施.		
G:	<input type="checkbox"/> 1:実施 提供先 (), <input type="checkbox"/> 2:未実施.						
(7) 記録方法	番号		備考				
(8) 効果とその自己評価							
効果 1	評価 1	備考 1					
効果 2	評価 2	備考 2					

Ⅲ. 退院時情報に関わる薬剤師業務

※「平成 29 年度病院薬剤部門の現状調査」（2017 年 6 月実施）のデータと併せて集計・活用させていただきます。データの収集にお手数をおかけし大変申し訳ございませんが、2017 年 6 月 1 日時点のデータ記載にご協力いただきますよう、お願い致します。

1. 地域連携室 (2017年6月1日現在)

(1) 貴施設には、地域連携室がありますか。		<input type="checkbox"/> 1:ある, <input type="checkbox"/> 2:ない(→2. へ).			
(2) 地域連携室の専従者、専任者の全ての人数を以下の表に記載してください。					
職種	(1) 専従 その業務に1日平均 8割以上従事している	(2) 専任 その業務の担当であり、 1日平均5割以上 8割未満従事している			
医師・歯科医師	人	人			
薬剤師	人	人			
看護師	人	人			
メディカルソーシャルワーカー	人	人			
社会福祉士	人	人			
介護福祉士	人	人			
理学療法士	人	人			
作業療法士	人	人			
事務職員	人	人			
その他 ()	人	人			
(3) 地域連携室での薬剤師の業務について、該当する全てにチェックし、「入院前入院時」については、情報提供する職種について、該当する全てにチェックしてください。		医師	病棟薬剤師	看護師	その他
入院前 入院時	<input type="checkbox"/> 1:入院時の服用薬の把握と処方意図を把握する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 2:入院前の服薬状況、服薬環境や問題点などを確認する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 3:かかりつけ薬剤師、介護スタッフの介入状況を確認し、服薬に関する情報を収集する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 4:その他 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
入院中	<input type="checkbox"/> 1:退院・転院後の条件や環境に合わせて主治医に処方薬の追加・削除、剤形変更の提案する, <input type="checkbox"/> 2:他職種からの薬物治療に関する相談に対応する, <input type="checkbox"/> 3:訪問薬剤管理指導報告書及びトレーシングレポート等を精査し、必要時処方の改善を医師に提案する, <input type="checkbox"/> 4:その他 ()				
退院時 退院転 院後	<input type="checkbox"/> 1:退院時カンファレンス(退院時共同指導を含む)に参画し、退院・転院後の薬物療法について関連スタッフと協議する, <input type="checkbox"/> 2:かかりつけ医、かかりつけ薬剤師、訪問薬剤師等との連携を図る, <input type="checkbox"/> 3:入院中の薬剤の開始・中止・変更等をかかりつけ医・かかりつけ薬剤師へ伝達する, <input type="checkbox"/> 4:その他 ()				
(4) 地域連携室の薬剤師業務の対象について、該当する1つにチェックをつけてください。					
<input type="checkbox"/> 1:紹介患者のみ, <input type="checkbox"/> 2:紹介患者に加え、救急入院患者も含む。					
(5) 地域連携室に専従または専任の薬剤師が配置されていない場合、地域連携室への薬剤師の関与の有無について、該当する1つにチェックをつけてください。					
<input type="checkbox"/> 1:薬剤師が関与している, <input type="checkbox"/> 2:薬剤師が関与していない。(→(7)へ)					

(6) (5)で薬剤師が関与<している>場合、地域連携室への関わりについて、該当する <u>全て</u> にチェックをつけてください。
□1: 転院先、在宅スタッフ等からの薬剤に関する問い合わせの窓口、 □2: かかりつけ薬局からの薬剤に関する問い合わせの窓口、 □3: その他 ()。
(7) 地域連携室に専従または専任の薬剤師が配置されていない場合、今後の配置予定について、該当する <u>1つ</u> にチェックをつけてください。
□1: ある (専従), □2: ある (専任), □3: ない, □4: 未定。

2. 地域医療連携クリニカルパス (2017年6月1日現在)

(1) 貴施設で作成されている地域医療連携クリニカルパス(以下、連携パス)がありますか。ある場合は、該当する <u>全て</u> にチェックをつけてください。ない場合は3.へ進んでください。
□1: 大腿骨頸部骨折, □2: 脳卒中, □3: がん, □4: 糖尿病, □5: 肝炎, □6: 急性心筋梗塞, □7: その他 ()。
(2) 連携パスの中で、薬剤シート(※)等を作成・運用していますか。している場合は、該当する <u>全て</u> にチェックをつけてください。 ※薬剤シート：地域連携クリニカルパスの内容に沿って薬剤情報を別紙にまとめたものをいう
□1: 大腿骨頸部骨折, □2: 脳卒中, □3: がん, □4: 糖尿病, □5: 肝炎, □6: 急性心筋梗塞, □7: その他 ()。
(3) 連携パス(薬剤シート等も含む)の作成・運用への薬剤師の関与の有無について、該当する <u>1つ</u> にチェックをつけてください。
□1: 薬剤師が関与している, □2: 薬剤師が関与していない(→3.へ)。
(A) 薬剤師が関与<している>場合、関与している業務について、該当する <u>全て</u> にチェックをつけてください。
□1: 連携パスの薬物治療の項目の作成, □2: 連携パスの薬物治療の項目以外の作成, □3: 連携パスの多施設間での運用, □4: 薬剤シート等の作成, □5: 薬剤シート等の多施設間での運用, □6: その他 ()。

3. ICTを利用した地域連携システムへの関与 (2017年6月1日現在)

(1) 医療情報連携ネットワーク等、ICTを利用した地域連携システムへの参画の有無について、該当する <u>1つ</u> にチェックをつけてください。
□1: 参画している, □2: 参画していない。
(A) 参画<している>場合、貴施設と連携している施設について、該当する <u>全て</u> にチェックをつけてください。
□1: 他の急性期病院, □2: 他の慢性期、回復期病院, □3: 介護老人保険施設, □4: 介護老人福祉施設, □5: 介護療養型医療施設, □6: クリニック (診療科:) , □7: 保険薬局, □8: 訪問看護ステーション, □9: 介護サービス事業所, □10: その他 ()。

設問は以上です。調査にご協力をいただき、ありがとうございました。

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍 なし

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ

雑誌 なし

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年